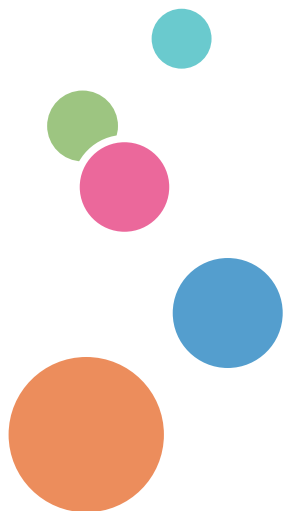




取扱説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
マルチメディア機能	5
故障かな…と思ったときは	6
付録	7



ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。



もくじ	1	電源を入れる.....	29
この本の読みかた.....	2	電源を切る.....	30
正しくお使いいただくために.....	2	インジケーターによる警告表示.....	31
本書についてのご注意.....	2	投写映像を調整する.....	32
安全上のご注意	3	投写映像の位置を調整する.....	32
安全上のご注意.....	3	ピントを調整する.....	32
表示について.....	3	投写映像の大きさを調整する.....	33
守っていただきたいこと.....	4	各種設定のしかた	34
安全に関する本機の表示.....	15	メニューを使う.....	34
警告・注意のラベル位置について.....	15	操作のしかた.....	34
電源スイッチの記号.....	16	メインメニュー.....	38
使用上のごお願い.....	16	映像.....	40
本製品の取り扱いに関すること.....	16	表示.....	42
お手入れに関すること.....	16	設定.....	43
映像の著作権について.....	16	詳細設定.....	45
3D映像の視聴について.....	17	セキュリティ.....	46
法律上の禁止事項.....	18	マルチメディア機能	47
海外輸出規制.....	18	マルチメディア再生について.....	47
電波、高調波電流に関する事項.....	18	USBメモリー/microSDカード	
電波障害についての注意事項.....	18	内蔵メモリーからの	
高調波電流規格についての事項.....	18	マルチメディア投影方法.....	49
廃棄について.....	18	1. 電源オン.....	49
はじめに	19	2. メディアのセット.....	49
同梱品の確認.....	19	3. メディアメニュー.....	49
本体各部の名称.....	20	4. ファイルの種類を選択.....	50
入出力端子.....	21	5. ファイルの選択.....	51
本体操作部.....	22	6. 設定メニュー.....	61
リモコン.....	23	7. 内部メモリーへのファイル転送.....	66
リモコンの電池.....	25	故障かな・・・と思ったときは ... 68	
初回使用時.....	25	付録	72
電池交換.....	25	対応信号一覧表.....	72
リモコンの有効操作範囲.....	26	仕様.....	73
基本的な操作	27	外形寸法.....	74
接続する.....	27	商標.....	75
コンピューター/ ノートパソコンと接続する.....	27		
映像機器と接続する.....	28		
電源の入れかたと切りかた.....	29		

この本の読みかた

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

安全上のご注意

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

使用環境について守っていただきたいこと

⚠警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。

⚠注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意



- 排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

⚠注意



- 紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

⚠注意



- 本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意



- 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起り、火災の原因となることがあります。

⚠注意



- 使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

安全上のご注意

⚠注意



- 本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外のコンセントを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットおよびACアダプターは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠警告



- 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはサービス実施店に交換を依頼してください。

⚠警告



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

⚠注意



- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意



- 電源コード、ACアダプターや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
 - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠警告



- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源オフ直後の本機（特に排気口の周りなど）は高温になっていますので触らないようにしてください。やけどの原因になることがあります。

⚠注意



- 本機の電源が入っているときはレンズキャップを使用しないでください。火災や故障の原因になります。

⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

⚠注意



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。



- 本機を長時間連続して（8時間/日を超えて）使用する場合は、あらかじめお客様相談センターにご相談ください。

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

安全上のご注意

設置について守っていただきたいこと

⚠ 警告

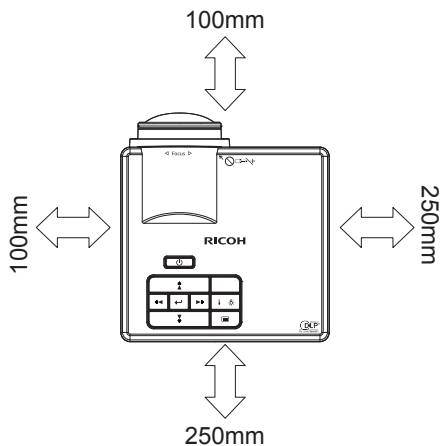


- 本機を、天吊り・壁掛け設置しないでください。落下によるけがの原因になります。

⚠ 警告



- 本機は360度方向の投影が可能です。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。
- また、プロジェクターの下側には少なくとも下図に示す距離の空間を設けてください。プロジェクター内部の冷却が不十分となり、熱による動作不良の原因となります。
- 三脚ネジ穴のみでの固定は避けてください。本体が回転した時の緩みにより落下の可能性があります。360度の設置については本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。



電池について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
 - 指定された電池以外は使用しないでください。
 - 種類の異なる電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 極性（+、-）を正しく入れてください。
 - 充電式以外の電池は充電しないでください。
 - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
 - +極と-極を針金などで接続しないでください。
 - 表示されている「使用推奨期間」を過ぎた電池、使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
 - 本製品付属のリモコンは、コイン型電池を使用しています。誤って電池を飲み込まないでください。体内に重度の化学やけどを負い、2時間以内に死亡する恐れがあります。もし誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠ 警告



- 電池は、子供の手に触れないようにしてください。リモコンの電池カバーがはずれやすいときは、リモコンの使用をやめ、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

電池から液がもれたときの対処

- もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

電池を廃棄するとき

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

安全上のご注意

移動について守っていただきたいこと

⚠注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプター含めたすべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

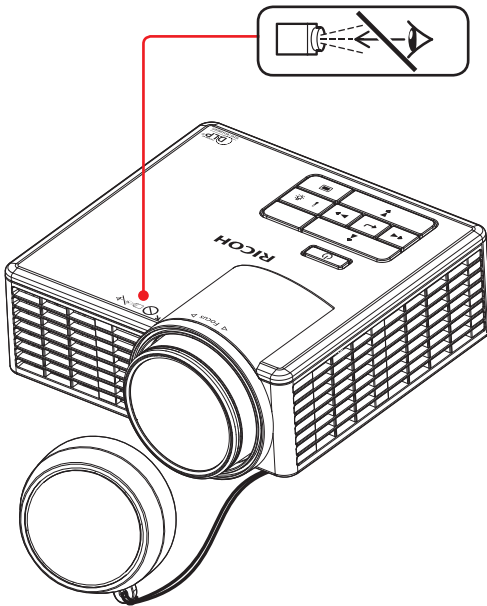
安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

警告・注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

上面




1. 動作中はレンズをのぞかないこと。
視力障害などの原因となります。

安全上のご注意

電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・  : オン/スタンバイの切り替え

使用上のお願い

本製品の取り扱いに関すること

- ・ 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- ・ 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- ・ 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- ・ 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
 - ・ 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
 - ・ 手で持ち運ぶ場合
 - ・ 付属のキャリーバッグを使用してください。
 - ・ 航空機での移動の場合には、手荷物として機内に持ち込んでください。
 - ・ 輸送する場合
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
 - ・ 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
 - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
 - ・ 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
 - ・ 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ・ ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

お手入れに関すること

- ・ お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- ・ 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ・ ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。

- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投影する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

3D映像の視聴について

3Dメガネを使用して本機で映像を視聴するときは、次の事項に注意してください。

- 3D映像を視聴するには3Dメガネが必要です。本機は3Dメガネとの同期方式としてDLP Link方式を用いた方式を採用しています。
- 3D映像の見えかたには個人差があります。
- 3D映像を視聴する以外の目的で3Dメガネを使用しないでください。
- 3Dメガネの説明書をよく読んでから使用してください。また、視聴する3D映像ソフトの説明書も確認してください。
- 3D映像を長時間連続して視聴しないでください。1時間視聴したら、15分以上休憩を取ることをお勧めします。
- 3D映像の視聴中に体調に変化を感じたときは、すぐに視聴を中止してください。しばらくしても異常が直らないときは医師に相談してください。
- 蛍光灯やLED照明などを使用している部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。そのときは、ちらつきが消えるまで明かりを暗くするか、明かりを消して視聴してください。
- 光感受性発作を起こしたことがある、または家族に該当する人がいるときは、3D映像を視聴する前に医師に相談してください。
- 3D映像を視聴するときは、スクリーンの正面に座り、左右の目の高さが同じになるような姿勢で視聴してください。
- スクリーンに近い距離で3D映像を視聴すると目に負担がかかります。投影画面の高さの3倍程度スクリーンから離れて視聴してください。
- 子供が3Dメガネを使用するときは、必ず大人の監督のもとに使用してください。
- 3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にしてください。健全な視覚発達に影響を及ぼす可能性があります。使用する前に医師に相談することをお勧めします。

安全上のご注意

法律上の禁止事項

海外輸出規制

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

電波、高調波電流に関する事項

電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波電流規格についての事項

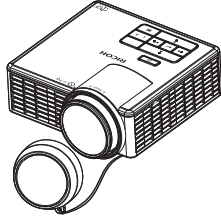
高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

廃棄について

本機、使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

同梱品の確認

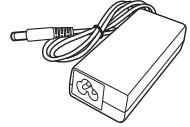
本製品には以下の同梱品が含まれます。同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。



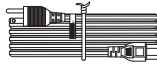
プロジェクター本体



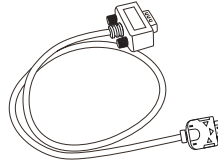
リモコン
(ボタン電池CR2025入り)



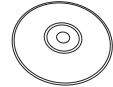
ACアダプター



電源コード



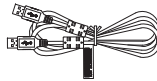
RGBケーブル



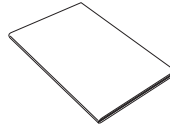
CD-ROM (*1)

補足

❖ (*1) 付属のCD-ROMにはPDF形式のユーザーマニュアルが収録されています。

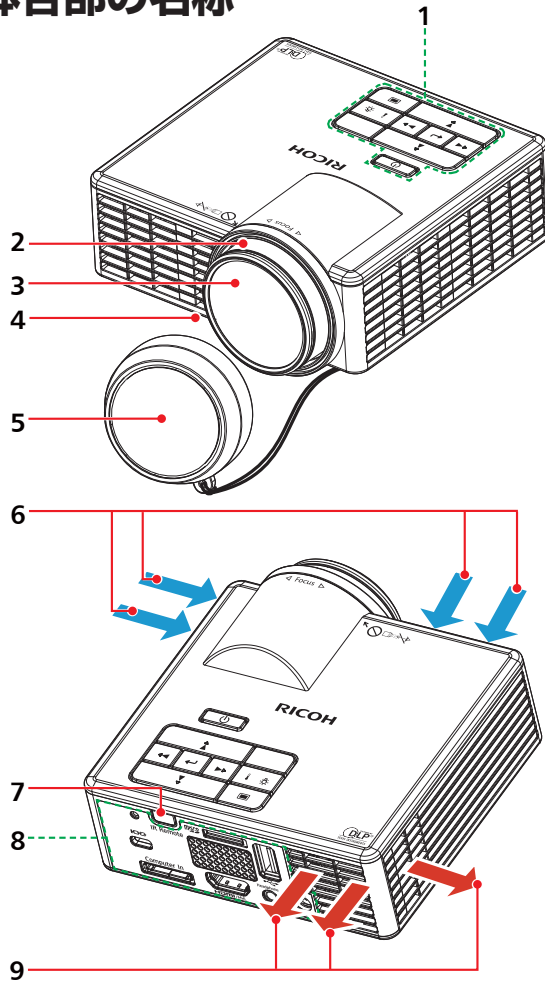


USB (A-A)ケーブル
・保証書



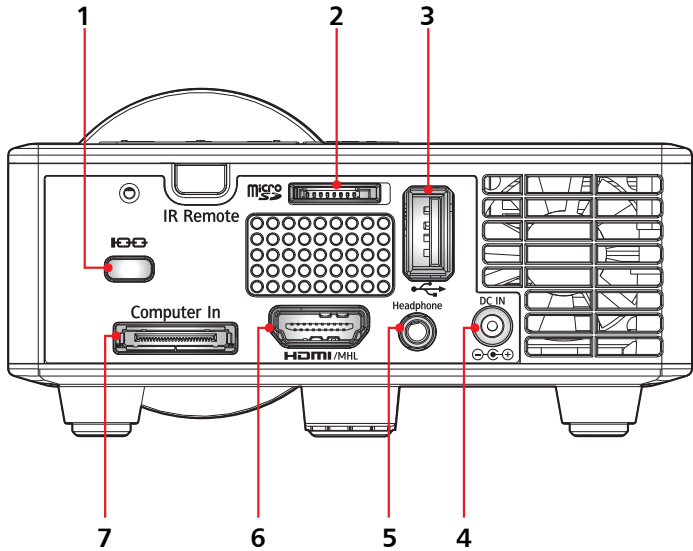
はじめにお読みください キャリーバッグ(*1)

本体各部の名称



1. 本体操作部
2. フォーカスリング
3. レンズ
4. アジャスタブルフット
5. レンズキャップ
6. 吸気口
7. リモコン受光部
8. 入出力端子
9. 排気口

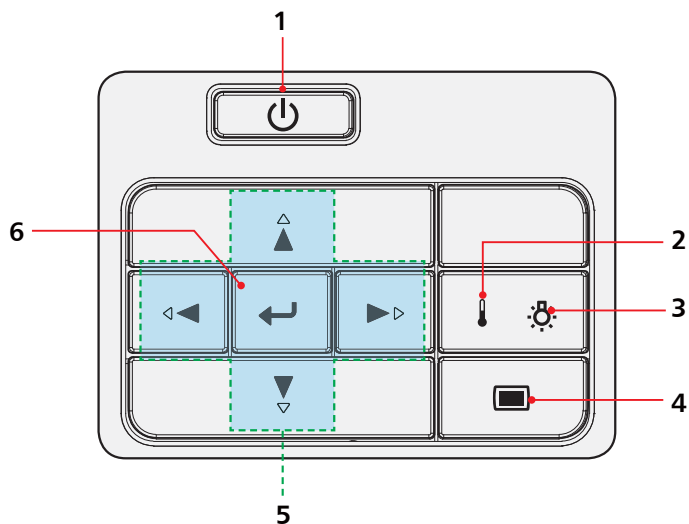
入出力端子



1. 盗難防止用穴
2. microSD カード挿入口
3. USB 入力端子
4. DC IN 端子
5. ヘッドフォン出力端子
6. HDMI/MHL 入力端子
7. コンピューター入力端子

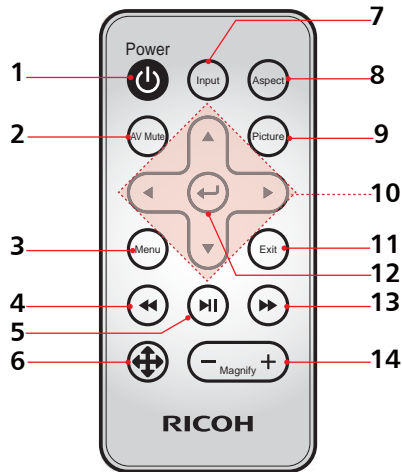
はじめに

本体操作部



1	電源キー	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(29～30ページ参照)
2	温度インジケータ	内部の温度状態を表示します。
3	エラーインジケータ	プロジェクターのエラーの状態を表示します。
4	メニューキー	調整用のメニューを表示したり、メニューをひとつ前の表示に戻したりします。(34ページ参照)
5	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。
6	決定キー	設定を選択または確定します。

リモコン



1	Power	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(29～30ページ参照)
2	AV Mute	音声と映像、またはどちらか一方の消去、表示を行います。
3	Menu	調整用のメニューを表示します。また、サブメニューが表示されているときに、ひとつ前の画面に戻ります。(34ページ参照)
4	Rewind	再生中の動画、音楽を巻き戻します
5	Play/Pause	動画、音楽の再生、静止を行います
6	Moving mode	拡大表示中の画面移動を行うモードへの移行、戻りを行います。
7	Input	入力信号を切り替えます。
8	Aspect	表示する画面のアスペクト比を切り換えます。

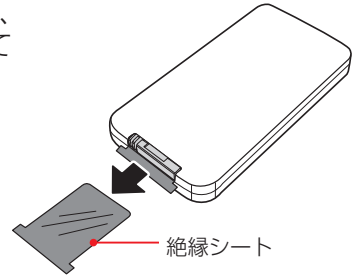
はじめに

9	▲▼◀▶	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整を します。
10	Picture	設定済みの映像モードを切り替えます。
11	Exit	一つ前のページに戻ります。
12	Enter	設定を選択または確定します。
13	Fast Forward	再生中の動画、音楽を早送りします。
14	Magnify	映像の一部を拡大します。 拡大した映像を縮小します。 (部分拡大)

リモコンの電池

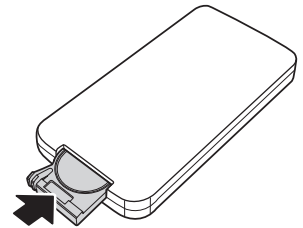
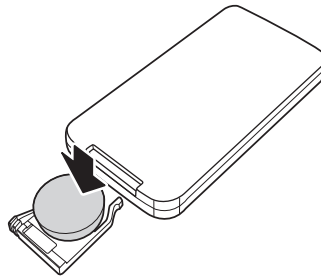
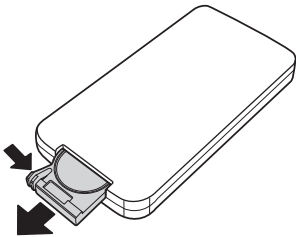
初回使用時

初めてリモコンを使用する際は、透明の絶縁シートを取り除いてください。



電池交換

- ① 電池ボックスのロック解除ボタンを押しながら、電池トレイを引き出します。
- ② 古い電池を取り除いて、電池トレイに新品の電池 (CR2025) をセットします。
- ③ 電池トレイを電池ボックスに差し込んで、カチッと音がするまでトレイを押し込みます。



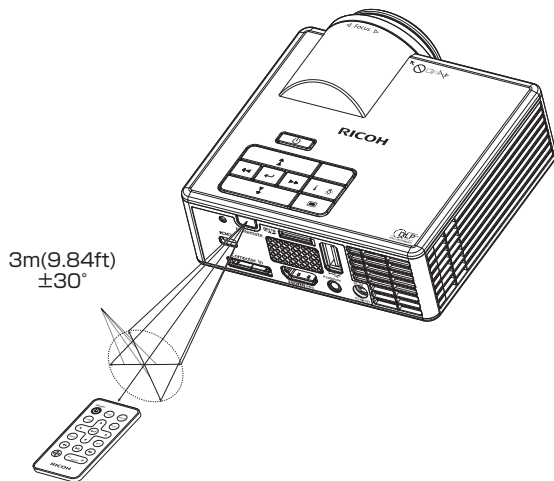
安全に使用するため、以下のことに注意してください：

- 電池を火の中に投げたりしないでください。
- 電池を飲み込んだりしないでください。火傷の恐れがあります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子どもの手の届かない場所に保管してください。

詳細については13ページを参照してください。

リモコンの有効操作範囲

- ・ ボタンを押すときに、リモコンを本機（リモコン受光部）に向けて操作します。リモコンの最大操作範囲は本機の後方約3m（9.8 フィート）、 $\pm 30^\circ$ です。
- ・ プロジェクターとリモコンの間に障害物がある場合は正しく動作しない場合があります。
- ・ 蛍光灯やその他の強い光の環境ではリモコンが正常に動作しない場合があります。
- ・ リモコンを使用することにより本機の全ての機能を使用することができます。リモコンの紛失に注意してください。



接続する

コンピューター/ノートパソコンと接続する

補足

❖ AC アダプターが本機の DC IN ソケットにきちんと差し込まれているか確認します。

❖ 電源プラグがきちんと AC アダプターの AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

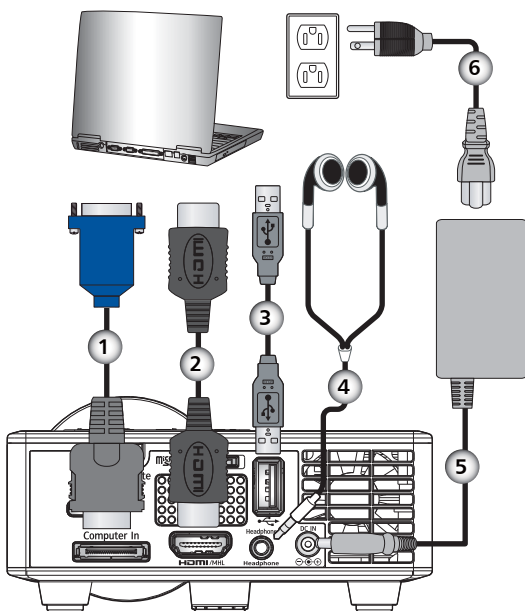
❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。

❖ 電源ケーブル、AC アダプターは必ず本機付属のものを使用してください。

❖ (*1)USB ケーブルはプロジェクターの内蔵メモリーヘータ転送の際に使用します。USB ケーブルを使用したの投影はできません。

❖ (*2)3.5mm ステレオ mini プラグ対応のヘッドフォンが使用できます。マイク機能付きのヘッドフォンは使用できません。

❖ ヘッドホンのインピーダンスの違いにより再生音量が異なる事があります。



- | | |
|--------|---------------------|
| 1..... | RGB ケーブル (同梱品) |
| 2..... | HDMI ケーブル |
| 3..... | USB ケーブル (同梱品) (*1) |
| 4..... | ヘッドフォン (*2) |
| 5..... | AC アダプター (同梱品) |
| 6..... | 電源コード (同梱品) |

❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード（解像度およびリフレッシュレート）が、本機が対応しているものであることを確認してください。（72 ページ参照）

❖ 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

基本的な操作

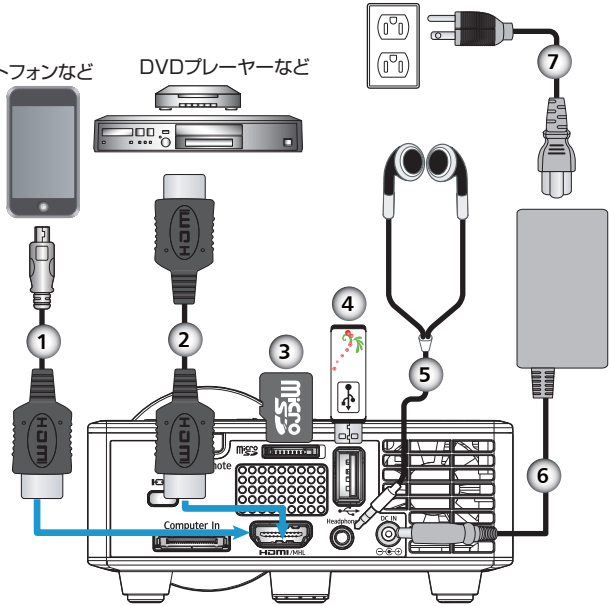
映像機器と接続する

補足

- ❖ AC アダプターが本機の DC IN ソケットにきちんと差し込まれているか確認します。
- ❖ 電源プラグがきちんと AC アダプターの AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。
- ❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。
- ❖ 電源ケーブル、AC アダプターは必ず本機付属のものを使用してください。
- ❖ (*1) 接続するスマートフォンなどのデバイスの MHL 対応状況を確認してください。非対応のデバイスは映像が表示されません。
- ❖ (*2) microSD、microSDHC カードに対応しています。
- ❖ (3) 3.5mm ステレオ mini プラグ対応のヘッドホンが使用できます。マイク機能付きのヘッドホンは使用できません。
- ❖ ヘッドホンのインピーダンスの違いにより再生音量が異なる事があります。

スマートフォンなど

DVDプレーヤーなど



- | | |
|--------|------------------|
| 1..... | MHL ケーブル (*1) |
| 2..... | HDMI ケーブル |
| 3..... | microSD カード (*2) |
| 4..... | USB メモリー |
| 5..... | ヘッドホン (*3) |
| 6..... | AC アダプター (同梱品) |
| 7..... | 電源コード (同梱品) |

- ❖ 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。



電源の入れかたと切りかた

電源を入れる

警告：ランプ点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

注意：本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

注意：排気口の近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。

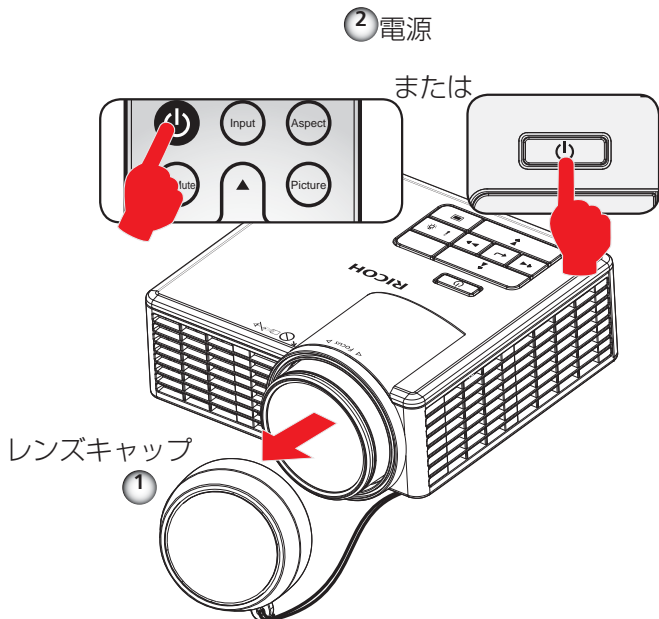
1. 電源コード、ACアダプターと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。電源インジケータが赤色に点灯します。
2. レンズキャップを外します。①
3. 本体操作部またはリモコンの[電源]を押して、ランプを点灯します。② 電源インジケータがオレンジ色に点滅します。
スタート画面が約3秒間表示されます。スタート画面が消えると、電源インジケータが青色に点灯します。
4. 信号源（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れて下さい。本機が自動的に信号を検出します。

補足

※同時に複数の信号を接続している場合は、[入力]を押して信号を切り替えてください。

補足

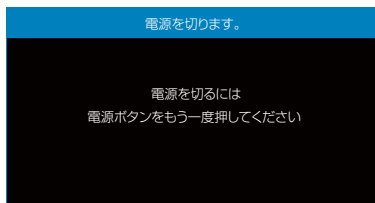
※本機の電源を最初に入れてから信号源の電源を入れます。



基本的な操作

電源を切る

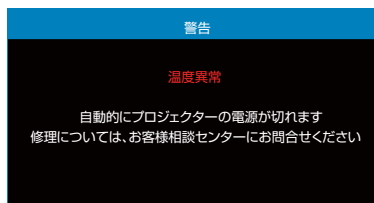
1. [電源] を押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



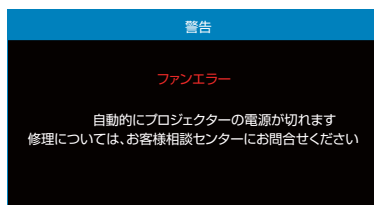
2. もう一度 [電源] を押すと、ランプが消えます。
3. 3～5秒後に電源インジケータはオレンジ色に点灯しスタンバイモードに移行します。
本機の電源を再度入れるときは、スタンバイモードに入るまでお待ちください。スタンバイモードに入った状態で[電源] を押すと、プロジェクターが再起動します。
4. 電源コード、ACアダプターをコンセントと本機から抜きます。

インジケーターによる警告表示

- ❖ [温度] インジケーターがオレンジ色に点滅（3秒点灯、1秒消灯）し、以下のメッセージが表示されたときは、本機の内部が過熱しています。吸排気口をふさぐものがないか確認し、異常が改善されない場合はコールセンターへ連絡してください。



- ❖ [温度] インジケーターが赤色に点滅（2秒点灯、0.5秒消灯）し、以下のメッセージが表示されたときは、冷却ファンが異常です。コールセンターへ連絡してください。



- ❖ [エラー] インジケーターがオレンジ色に点灯した時は、光源のLEDの異常です。コールセンターへ連絡してください。

エラーインジケーターの詳細については、70 ページを参照してください。

基本的な操作

投写映像を調整する

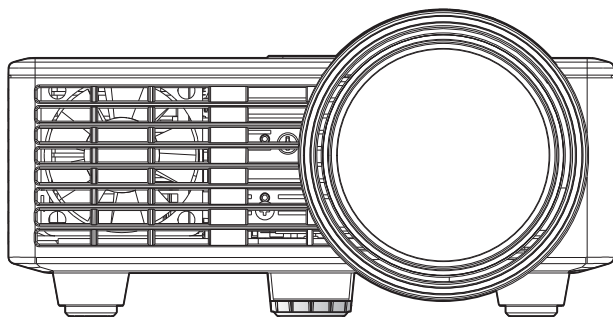
投写映像の位置を調整する

本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像の上下位置や傾きを調整できます。

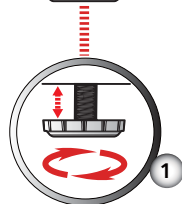
1. 前側のアジャスタブルフットのみ調整できます。
2. アジャスタブルフットの調整リングを時計回りに回すと本機の位置を高く、反時計回りに回すと低く調整できます。必要に応じて調整してください。

補足

❖ アジャスタブルフットを回転させると、約7度まで傾けられます。



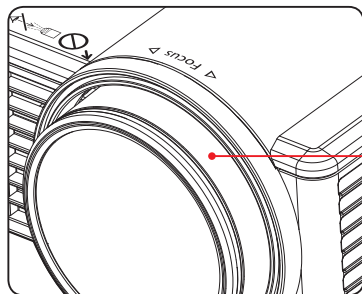
前側のアジャスタブルフット
最大6mm



画面のピントを調整する

映像のピントを合わせるには、映像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。

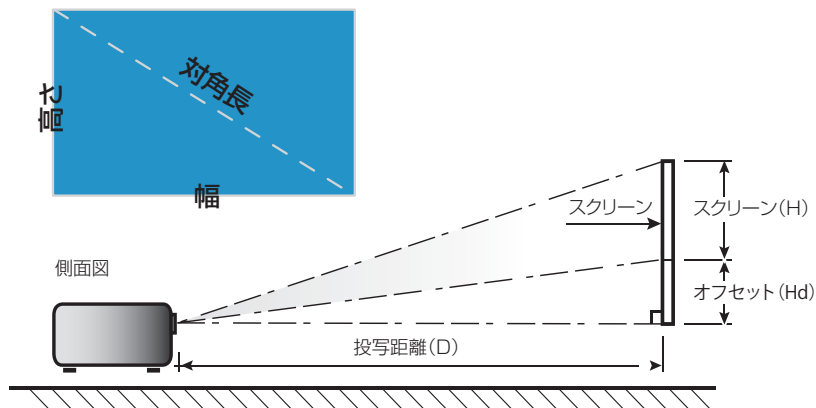
- ▶ ピントが合う距離は 0.86～1.72m です。



フォーカスリング

投写映像の大きさを調整する

▶ 投写映像サイズ 0.86~1.72m (50~100 型)



画面サイズ (型) 16:10	画面サイズ 幅×高さ		投影距離 (D)		オフセット (Hd)
	(m)		(m)	(feet)	(cm)
	Width	Height			
50	1.08	0.67	0.86	2.83	0
60	1.29	0.81	1.03	3.92	0
65	1.40	0.88	1.12	3.67	0
70	1.51	0.94	1.21	3.96	0
80	1.72	1.08	1.38	4.52	0
90	1.94	1.21	1.55	5.09	0
100	2.15	1.35	1.72	5.65	0




❖ 参考値

各種設定のしかた

メニューを使う

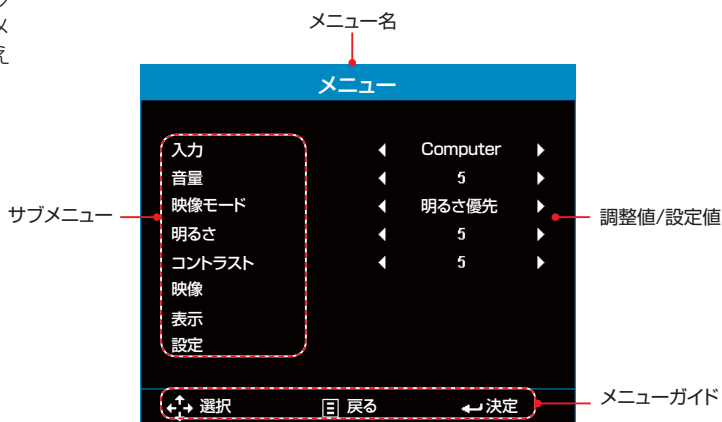
メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

操作のしかた

1. 本体の  (メニュー) ボタンまたはリモコンの [Menu] ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. 左側に表示されている項目から▲ ▼ボタンで調整したい項目を選びます。右側に調整値 / 設定値が表示されている項目は、◀▶ボタンを押すことにより調整値 / 設定値を変更する事ができます。
右側に調整値 / 設定値が表示されていない項目は、その項目を選び▶または◀ [Enter] を押すことにより、一つ下の階層のサブメニューが開きます。
3. サブメニューでも同様に調整 / 設定ができます。
上の階層に戻るには、本体の  (メニュー) ボタンまたはリモコンの [Menu] ボタンを押します。
サブメニューにも、もう一つ下の階層のサブメニューがあり、同様の操作でサブメニュー間の移動ができます。
4. 調整 / 設定を終了するには、メインメニューが表示されているときにもう一度本体の  (メニュー) ボタンまたはリモコンの [Menu] ボタンを押して、メニューを消します。
5. 調整 / 設定した値は自動的に保存されます。

補足

❖ 約 10 秒間ボタンの操作をしないと、メニューは自動的に消えます。



各種設定のしかた

メインメニュー	第2レベル	第3レベル	設定範囲	初期値
入力		Computer	Computer	Computer
		HDMI/MHL		
		Media		
音量		0~10	5	5
映像モード		明るさ優先	PC	PC
		PC		
		sRGB		
		Wide 1		
		Wide 2		
		エコ		
明るさ		0~10	5	5
コントラスト		0~10	5	5
映像	色の濃さ	色の濃さ	0~20	10
		色合い	-10~+10	0
	アスペクト比	自動	自動	自動
		4:3		
		16:9		
		16:10		
	ズーム	50%/75%/100%/125%/150%/175%/200%	100%	100%
		100%		
		125%/150%/175%/200%		
	色温度	低	Computer => 中 HDMI => 低	Computer => 中 HDMI => 低
中				
高				
カラースペース	自動	自動	自動	
	RGB			
	YCbCr			
クロック周波数		-5~5	0	0
サンプリング位相		0~31	0	0

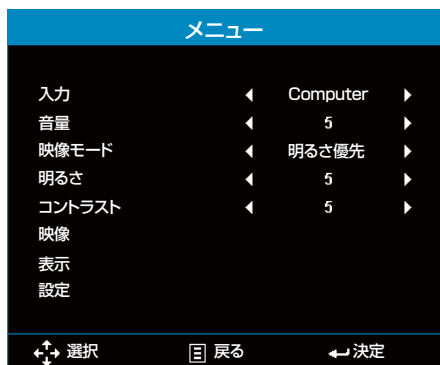
各種設定のしかた

メインメニュー	第2レベル	第3レベル	設定範囲	初期値	
表示	自動台形補正		入り 切り	入り	
	台形補正		-40~+40	0	
	設置モード		自動台形補正 入り:	通常	通常
			<input type="checkbox"/> Abc 通常 <input type="checkbox"/> cdA 左右反転		
			自動台形補正 切り:	通常	
			<input type="checkbox"/> Abc 通常 <input type="checkbox"/> cdA 左右反転 <input type="checkbox"/> qba 上下反転 <input type="checkbox"/> apc 上下左右反転		

各種設定のしかた

メインメニュー	第2レベル	第3レベル	設定範囲	初期値
設定	言語		English	English
			Germany	
			French	
			Italian	
			Spanish	
			Portuguese	
			Polish	
			Dutch	
			Russian	
			Swedish	
			Greek	
			中文(繁)	
			中文(簡)	
			日本語	
		Korean		
		Turkish		
		電源オン時入力	自動	自動
			Computer	
			HDMI/MHL	
			Media	
	自動電源オン	入り	切り	
		切り		
	スリープタイマー	自動	自動	
		切り		
		0:30 / 1:00 / 3:00 / 8:00 / 12:00		
	詳細設定	ミュート	AVミュート	AVミュート
			オーディオビデオ	
		3D	入り	切り
			切り	
	3D同期反転	入り	切り	
		切り		
	セキュリティ		(セキュリティメニューへ)	
	全てを初期化		はい	いいえ
	ソフトウェア Ver.		(ソフトウェアのバージョンを表示しています)	

各種設定のしかた



メインメニュー

入力

入力映像を切り替えます。◀または▶で項目を選択します。

- ▶ Computer : Computer 入力端子を選択します
- ▶ HDMI/MHL : HDMI/MHL 入力端子を選択します
- ▶ Media : USB メモリー、microSD カード、内蔵メモリーの再生や、内蔵メモリーへのデータ転送を行います。

音量

音量を調整します。

- ▶ ◀を押すと、音量が下がります。
- ▶ ▶を押すと、音量が上がります。

映像モード

映像モードを選択します。◀または▶で項目を選択します。

- ▶ 明るさ優先 : 明るさを優先したモードです。
- ▶ PC : PC 画面表示やプレゼンテーションに適したモードです。
- ▶ sRGB : 色再現空間を sRGB に近づけたモードです。
- ▶ Wide 1 : 色再現空間を sRGB からさらに広げたモードです。
- ▶ Wide 2 : 色再現空間を最大にしたモードです。
- ▶ エコ : 消費電力を抑えたモードです。

明るさ

明るさを調整します。◀または▶で調整します。

- ▶ ◀で映像を暗くします。
- ▶ ▶で映像を明るくします。

コントラスト

映像の最も明るい部分と暗い部分の輝度の差を変更して、映像に含まれる黒と白の強さを調整することができます。

▶ ◀ でコントラストを弱くします。

▶ ▶ でコントラストを強くします。

映像

映像メニューを表示します。

表示

表示メニューを表示します。

設定

設定メニューを表示します。

各種設定のしかた



映像

色の濃さ

色の濃さを調整します。◀または▶で調整します。

色合い

色合いを調整します。◀または▶で調整します。

アスペクト比

▶ 自動：適切な画面のアスペクト比を自動的に選択します。

入力信号が 4:3 の時はアスペクト比 4:3 の映像を、16:9 またはそれ以上の時はアスペクト比 16:9 の映像を表示します。

▶ 4:3：アスペクト比 4:3 で表示します。

▶ 16:9：アスペクト比 16:9 で表示します。(HDTV や DVD からの映像を表示するときに選びます)

ズーム

投影する映像の一部分を拡大して表示します。

▶ ◀を押すと、拡大率が低くなります。(最小 50%)

▶ ▶を押すと、拡大率が高くなります。(最大 200%)

色温度

投影する映像の色温度を変更します。

▶ 低：色温度を低くします。

▶ 中：色温度を中程度に設定します。

▶ 高：色温度を高くします。

カラースペース

投影する映像のカラースペースを自動、RGB、YCbCr から選択します。

クロック周波数

◀または▶で細かい線を表示したときの周期的な模様や、ちらつきをなくします。

補足

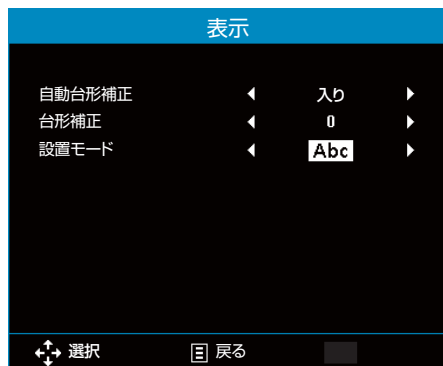
❖ 入力信号により、調整できない項目があります。

各種設定のしかた

サンプリング位相

◀ または ▶ で、画面の水平方向に表示するドット数をお使いのコンピューターの出力解像度に合わせて調整します。

各種設定のしかた



表示

自動台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正を自動で行うか選択できます。自動台形補正が入りの時は設置モードで`oqv`、`vpc`は選択できません。

台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正ができます。自動台形補正が切りの時に有効です。

◀ または ▶ を押して、映像の垂直方向のゆがみを調整します。映像が台形に歪んでいる場合は、映像のゆがみを軽減できます。

設置モード

プロジェクターの設置方法に合わせて投射モードを設定します。プロジェクターの設置後`Abc`が正しく見える条件に設定してください。

- ▶ `Abc`
工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。
- ▶ `oqA`
映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側に設置するときを使用します。
- ▶ `oqv`
映像の上下が反転して投写されます。自動台形補正がオンのときは選択できません。
- ▶ `vpc`
映像の上下左右が反転して投写されます。自動台形補正がオンのときは選択できません。

言語

メニューの表示言語を選択します。[Enter] を押してサブメニューに入り、▲、▼、◀、▶キーで言語を選択します。[Enter] を押して選択を確定します。

各種設定のしかた



設定

言語

メニューの表示言語を選択します。◀、▶キーで言語を選択します。

電源オン時入力

電源オン時の入力を設定します。”自動”を選ぶと前回電源を切った時の入力選ばれます。

自動電源オン

入りに設定をするとプロジェクターに接続された AC アダプターに AC 電源を供給すると自動でプロジェクターの電源を入れます。

スリープタイマー

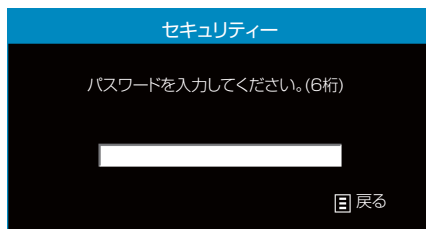
電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。入力信号の有無にかかわらず設定した時間が経つと電源が切れます。自動に設定すると入力信号がない状態で15分経過すると電源が切れます。

詳細設定

詳細設定画面を表示します。

セキュリティー

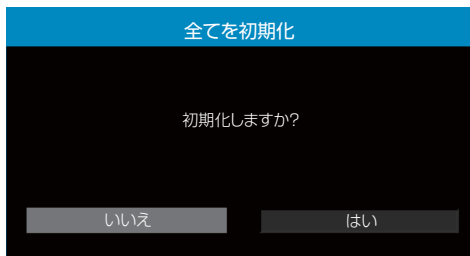
セキュリティーを設定します。セキュリティーの設定にはパスワードの入力が必要です。パスワードは4方向キーで6桁の入力を行います。購入時のパスワードは▲▼◀▶▲▼です。



各種設定のしかた

全てを初期化

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。「はい」を選択すると、全てのメニュー項目の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。セキュリティーの設定（パスワード）は初期化されません。



ソフトウェアVer.

ソフトウェアのバージョンが表示されています。



詳細設定

ミュート

リモコンの AV Mute を押した時の動作を以下の 3 つから選択します。

- ▶ AV ミュート：映像の表示と音声の出力を停止します。
- ▶ オーディオ：音声の出力のみ停止します。
- ▶ ビデオ：絵以上の表示のみ停止します。

補足

❖ 3D 映像を見るには、本機が対応する 3D 映像とそれに対応した再生機器、および 3Dメガネが必要です。

❖ 3D での最大入力解像度は 1024 × 768 (120Hz) です。

❖ 「3D 同期反転」は、3D が利用可能な場合のみ選択できます。

❖ 3D 映像の再生をやり直した際は、この設定の変更が必要になることがあります。

3D

3D 表示を行うかどうか切り替えます。本機ではフレームシーケンシャル方式の 3D にのみ対応しております。Blu-ray 3D には対応していません。

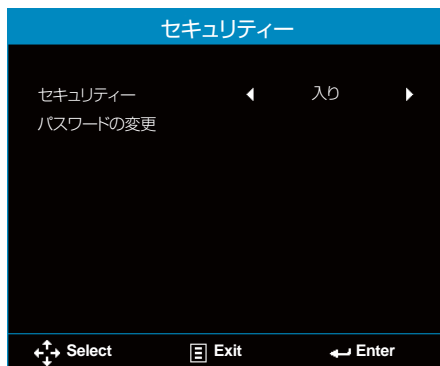
- ▶ 入り：3D 映像を表示するときに選択します。
- ▶ 切り：通常の映像（2D 映像）を表示するときに選択します。

3D同期反転

左右の映像の同期を反転します。3D が正常に見えない場合に切り替えてください。

- ▶ 入り：表示された映像が不自然に見えたり、正しく立体に見えない場合に、「入り」を選択します。
- ▶ 切り：通常は「切り」を選択します。

各種設定のしかた



セキュリティ

補足

- ❖ 設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- ❖ パスワードおよびセキュリティ設定は「全てを初期化」でもリセットされません。
- ❖ パスワードを忘れた場合はコールセンターまで連絡してください。
- ❖ 購入時のパスワードは ▲▼◀▶▲▼ です。

セキュリティ

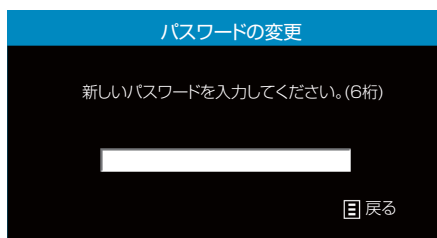
電源を入れるときに、矢印キーの組み合わせによるパスワード保護をかけることができます。

- ▶ 切り：セキュリティ機能を使用しません。
- ▶ 入り：セキュリティ機能を使用します。

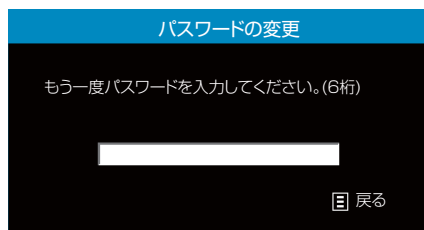
パスワードの変更

パスワード変更画面を表示します。「Enter」キーを押してください。

- ▶ 新しいパスワードを入力してください。(6桁)：新しいパスワードを4方向キーで入力します。



- ▶ もう一度パスワードを入力してください。(6桁)：同じパスワードをもう一度入力します。



2 回の入力パスワードが一致しない場合は 1 回目の入力から再度入力してください。「Menu」キーでパスワード設定をキャンセルできます。

マルチメディア機能

マルチメディア再生について

本機では、USBメモリー、microSDカード、内蔵メモリーからのマルチメディア再生が可能です。対応するメディアファイルのフォーマットは以下のとおりです。

▶ 写真

ファイルフォーマット (拡張子)	タイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	6000x4000=24,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	6000x4000=24,000,000 ピクセル
		YUV422	
YUV440			
BMP			6000x4000=24,000,000 ピクセル

▶ ビデオ

ファイルフォーマット	ビデオコーデック	最大解像度	最大ビットレート (bps)	オーディオコーデック	プロファイル
MPG, MPEG	MPEG1/2	1920 x 1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3, LPCM	
AVI, MOV, MP4, MKV	H.264	1920 x 1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3, AAC, LPCM	BP(Baseline Profile)/MP(Main Profile)/HP(High Profile)
AVI, MOV, MP4	MPEG4	1920 x 1080 30fps	30M bps		SP(Simple Profile)/ASP(Advanced Simple Profile)
AVI, MOV, MP4	Xvid	1920 x 1080 30fps	30M bps		SP(Simple Profile)/ASP(Advanced Simple Profile)
AVI	MJPEG	1920x1080 30fps	30Mbps		BP(Baseline Profile)
WMV	VC-1	1920 x 1080 30fps	30M bps		WM8/9

▶ オーディオ

ファイルフォーマット (拡張子)	サンプリングレート (KHz)	ビットレート (Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	8-48	5-320
WAV(ADPCM-WAV)	8-48	32-384
WAV(PCM-WAV)	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-320
M4A	8-48	8-320

マルチメディア機能

Officeビューワー

補足

❖ 2013以降の Word, Excel, PowerPoint には対応していません。

❖ (*) 行・列・シートのひとつでも最大を超えると表示できません。

❖ PowerPoint のアニメーションには対応していません。

❖ PC の画面と同一の表示にならない場合があります。

ファイル種類	対応Version	ページ/行制限	最大サイズ
Adobe PDF	PDF 1.0, 1.1, 1.2, 1.3, 1.4	最大 360 ページ (1ファイル)	32MB
Microsoft Word	Word 95	— (ファイルの一括読み込みはしません)	20MB
	Word 97, 2000, 2002, 2003		30MB
	Word 2007(.docx) Word2010(.docx)		
Microsoft Excel	Excel 5,95	最大 300行(*) 最大 100列(*) 最大 50シート(*)	14MB
	Excel 97, 2000, 2002, 2003		
	Excel 2007(.xlsx) Excel 2010(.xlsx)		
	Office XP Excel		
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97	最大100ページまで (1ファイル)	19MB
	PowerPoint 2000, 2002, 2003		
	PowerPoint 2007(.pptx)		
	PowerPoint 2010(.pptx) Office XP PowerPoint		
	PowerPoint presentation 2003 and earlier (.ppx)		
	PowerPoint presentation 2007 and 2010 (.ppsx)		

マルチメディア機能

USBメモリー、microSDカード、内蔵メモリーからのマルチメディア投影方法

補足

❖ マルチメディア再生時は、USB入力端子にはUSBメモリー以外は接続しないでください。

USBメモリー、microSDカード、内蔵メモリーから、写真・ビデオ・音楽ファイルを再生するには以下の手順で行ってください。

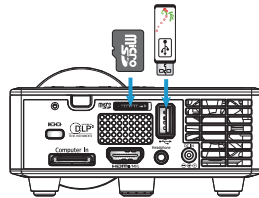
1. 電源オン

プロジェクターの電源をオンにします。P30の説明を確認してください。

2. メディアのセット

<USBメモリー> USBメモリーをUSB入力端子に挿します。

<micro SDカード> micro SDカードを microSDスロットに挿します。



入力を「Media」に切り替えてください。(P38を参照してください)

3. メディアメニュー

「Media」を選択してください。



micro SDカードをプロジェクターにセットすると、micro SDカードのアイコンが表示されます。

USBメモリーをプロジェクターにセットすると、Media入力を選択後にUSBメモリーのアイコンが表示されます。

マルチメディア機能

「Media」のメニューがひらきます。



4. ファイルの種類を選択

「内部メモリ」「SDカード(microSD)」「USB(USBメモリー)」から選択します。その後「写真」「ビデオ」「音楽」「Office(Officeビューワー)」の4種類から再生するファイルの種類を選択します。



マルチメディア機能

5. ファイルの選択

5.1 写真

「写真」では写真のサムネイルと(写真ファイルを含む)フォルダーが表示されます。表示したい写真を4方向キーで選んで「Enter」キーを押すとその写真が全画面で表示されます。フォルダーアイコンを選び「Enter」キーを押すとそのフォルダー内の写真ファイルを表示します。◀を選び、「Enter」を押すと一つ上の階層に戻ります。

写真を含まないフォルダーは表示されません。

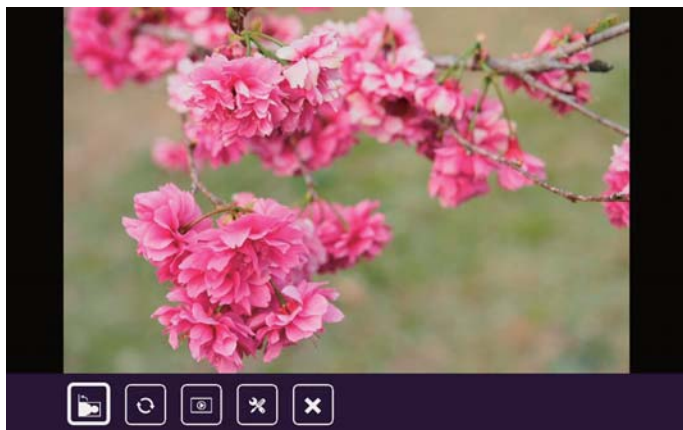


写真ファイルのサムネイルを選び、「Enter」を押します。



マルチメディア機能

写真が表示されます。



補足

❖ スライドショーは同一フォルダーの写真ファイルを自動で切り替えます。

操作: 設定ボタンが画面の下方に表示されます。このボタンは何も操作しないと3-5秒で消えます。再度表示させるには「Enter」キーを押します。ボタンをすぐに消したい場合はリモコンの「Exit」キーを押します。

操作: 設定ボタンはリモコンまたは本体操作部の ◀▶ キーで選び、「Enter」キーを押して操作・設定をします。



: 現在表示されている画像を90度左に回転します。
(次に表示されるときは、元に戻ります。)



: スライドショーの繰り返しを切り替えます。
繰り返しを設定するとボタンの色が反転します。



: スライドショーを開始します。(同一フォルダー内の再生)
フォルダー内の写真をファイルの順番で自動的に表示します。

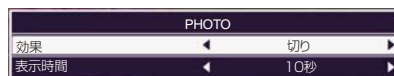


: 設定メニューを表示します。



: 画像表示を終了し、リスト画面に戻ります。

設定メニューでは「効果」と「表示時間」の設定ができます。



操作: 設定ボタンが表示されていないときに、◀▶ キーを押すと前後の画像に切り替えることができます。
また、リモコンの (Exit) キーを押して画像表示を終了させる事ができます。

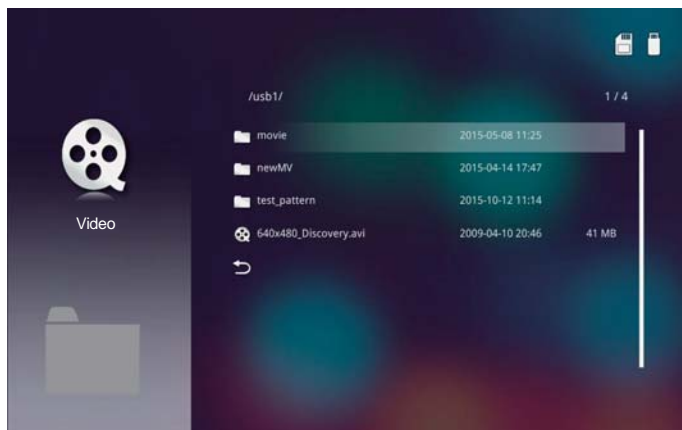
マルチメディア機能

5.2 ビデオ

「ビデオ」を選ぶとビデオファイルとビデオファイルがあるフォルダーが表示されます。

再生したいビデオファイルを▲▼キーで選んで「Enter」キーを押すとそのファイルを再生できます。フォルダーを選んで「Enter」キーを押すとフォルダー内のファイルを表示します。⏪を選び「Enter」キーを押すと一つ上の階層に戻ります。

ビデオデータがないフォルダーは表示されません。













ビデオ再生画面



操作・設定ボタンと再生バーが画面の下方に表示されます。このボタンとバーは何も操作しないと3-5秒で消えます。再度表示させるには「Enter」キーを押します。ボタンをすぐに消したい場合はリモコンの「Exit」キーを押します。

マルチメディア機能

操作:設定ボタン使うにはリモコン,または操作部の ◀▶ キーで選択して「Enter」キーを押します。
各ボタンの昨日は以下のとおりです。





- : 一つ前のビデオファイルを再生します。
- : 現在再生中のビデオを巻き戻します。
(巻き戻し速度はボタンを押すたびに3段階に変化します)
- : 再生中のビデオを一時停止します。ボタンは  に変わります。
- : 一時停止したビデオを再生します。ボタンは  に変わります。
- : 現在再生中のビデオを早送りします。
(早送り速度はボタンを押すたびに3段階に変化します)
- : 次のビデオファイルを再生します。
- : 設定メニューを表示します。
- : ビデオの再生を停止して、リスト画面に戻ります。

設定メニューでは、「アスペクト比」と「繰り返しモード」を設定することができます。



*音量について
ビデオ再生中は、リモコンまたは本体操作部の ▲▼ キーで音量操作ができます。

*リモコンのキーを使用して、直接ビデオ再生の操作をすることもできます。

- : 一時停止、再生します。
- : 現在再生中のビデオを巻き戻します。
(巻き戻し速度はボタンを押すたびに3段階に変化します)
- : 現在再生中のビデオを早送りします。
(早送り速度はボタンを押すたびに3段階に変化します)
- : ビデオの再生を停止して、リスト画面に戻ります。

マルチメディア機能

5.3 音楽

「音楽」を選ぶと音楽ファイルと、(音楽ファイルを含む)フォルダが表示されます。再生したい音楽ファイルを▲▼キーで選んで「Enter」を押すとそのファイルが再生できます。フォルダを選び「Enter」を押すとそのフォルダの音楽ファイルを表示します。⏪を選び「Enter」キーを押すと一つ上の階層に戻ります。
音楽データがないフォルダは表示されません。



音楽ファイルを選択し「Enter」キーを押すと再生が始まります。













マルチメディア機能



操作:設定ボタンと再生バーが画面の下部に表示されます。このボタンとバーは音楽再生中は常に表示されます。

操作:設定ボタンを使うには、リモコン、または本体操作部の ◀▶ キーでアイコンを選択して「Enter」を押します。

- : 一つ前の音楽ファイルを再生します。
- : 現在再生中の音楽を巻き戻します。
- : 再生中の音楽を一時停止します。ボタンは  に変わります。
- : 一時停止した音楽を再生します。ボタンは  に変わります。
- : 現在再生中の音楽を早送りします。
- : 次の音楽ファイルを再生します。
- : 設定メニューを表示します。
- : 音楽の再生を停止して、リスト画面に戻ります。

設定メニューでは「繰り返しモード」を変更することができます。



*音量について
音楽再生中は、リモコンまたは本体操作部の ▲▼ キーで音量操作ができます。





マルチメディア機能

補足

❖ Office ファイルは以下の様式のファイルが再生できます。

- ・ PDF
- ・ PowerPoint
- ・ Excel
- ・ Word

*リモコンのキーを使用して、直接音楽再生の操作をすることもできます。

- : 再生中の音楽をポーズ、再生します。
- : 現在再生中の音楽を巻き戻します。
- : 現在再生中の音楽を早送りします。
- : 音楽を停止して、リスト画面に戻ります。

5.4 Office ビューワー


*本機のOfficeビューワーは簡易的なビューワーです。対応しているファイル形式(P48)でも、ファイルが表示できなかったり、表示がPCと異なる場合があります。ご了承ください。

*Power Pointファイルがうまく表示ができない場合、下記URLのJPEG変換ツール タイプA でJPEGファイルに変換し写真モードで表示できます。

URL: http://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/projector/history/w/bb/pub_j/dr_ut_d/4101021/4101021971/V1110/5186287/186287/history.htm

「Office」を選べばOfficeビューワーで再生できるファイルと、(Officeファイルを含む)フォルダーが表示されます。

表示したいOfficeファイルをリモコン、または本体操作部の▲▼キーで選び「Enter」キーを押すとそのファイルを表示できます。フォルダーを選び「Enter」を押すとそのフォルダーのOfficeファイルを表示します。

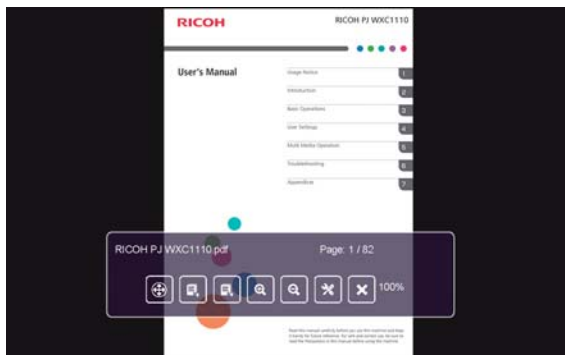
を選んで「Enter」を押すと、一つ上の階層に戻ります。

Office文書のないフォルダーは表示されません。



マルチメディア機能

ファイルが選択されて「Enter」キーが押されると、ファイルの内容を表示します。



操作 設定ボタンが画面の下部に表示されます。このボタンは何も操作しないと3-5秒で消えます。再度表示させるには「Enter」キーを押します。ボタンをすぐに消したい場合はリモコンの「Exit」キーを押します。

操作 設定ボタンを使うにはリモコン、または操作部の ◀ ▶ キーで選択して「Enter」キーを押します。



: 画面移動モードに入ります。
(画面移動モードに移行するとボタンの色が反転します)



: 前ページを表示します。



: 次ページを表示します。



: 拡大表示します。



: 縮小表示します。



: 設定メニューをひらきます。



: Officeファイルの表示を終了してリスト画面に戻ります。

マルチメディア機能

画面移動モードでは、以下の操作・設定ボタンが表示されます。



画面移動モードを抜けて通常モードに入ります。
(ボタンの色が元に戻ります)



表示エリアを上方に移動します。



表示エリアを下方に移動します。



表示エリアを左側に移動します。



表示エリアを右側に移動します。



拡大表示します。



縮小表示します。



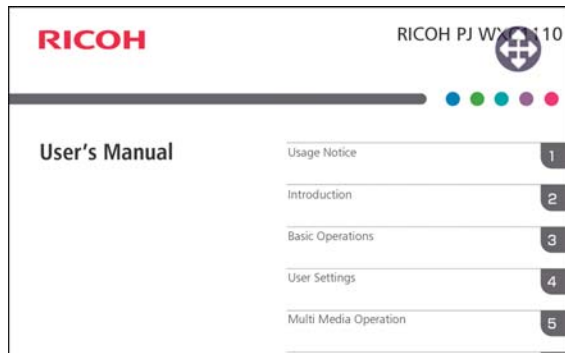
設定メニューをひらきます。



Officeファイルの表示を終了してリスト画面に戻ります。

操作・設定ボタンは何も操作しないと3-5秒で消えます。


ボタンが消えても、画面移動モードであることを示す4方向矢印が画面右上に表示されます。




マルチメディア機能

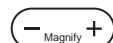
Officeビューワーは、本体操作部やリモコンのキーで操作をすることもできます。


通常モードでは:

 ◀: 前ページに移動します。

 ▶: 次ページに移動します。

 ↶: 操作・設定ボタンを表示します。

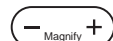
 Magnify: 画像を拡大縮小します。


 ⊕: 画面移動モードへ移行します。

画面移動モードでは:

 ◀ ▶ ▲ ▼: 表示位置を4方向に移動します。

 ↶: 操作・設定ボタンを表示します。

 Magnify: 画像を拡大縮小します。

 ⊕: 通常モードへ移行します。

設定メニューで「表示モード」を変更する事ができます。



5.5 表示フォントについて

本機のOfficeビューアーでは、内蔵のUnicodeフォントを使用して表示しています。PDFの埋め込みフォント以外のフォントは、全てこのフォントに置き換えて表示されます。

このため、文字の形状、大きさ、改行位置が元ファイルと同一にならない場合があります。

本機でプレゼンテーションを実施する際は必ず事前に確認の上、ご使用ください。

PDFの表示は埋め込みフォントに対応しています。正しいフォントで表示したい場合は、PDFファイルの作成時にフォントを埋め込んでください。埋め込みフォントに関する詳しい情報は、AdobeのWEBサイトやPDF作成ソフトウェアに確認してください。

マルチメディア機能

6. 設定メニュー

「Media」の「設定」メニューからマルチメディア再生に関する設定ができます。



6.1 システム



このメニューではシステムの状況を更新する事ができます。

バージョン
現在のメディア再生プログラムのバージョンを表示します。
更新
USBメモリーを用いてメディア再生プログラムを更新します。

*詳しい情報は新しい再生プログラムと一緒に提供される更新方法を参照してください。

マルチメディア機能

6.2 写真



写真のスライドショー再生時の設定を行います。

効果

スライドショーで写真が切り替わる時の効果を変更します。「切り」「Mode A」「Mode B」「Mode C」から選択します。

表示時間

1枚の写真の表示時間を変更します。「10秒」「30秒」「1分」から選択します。設定した時間が経過すると次の写真を表示します。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存して設定メニューから抜けます。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存しないで設定メニューから抜けます。

6.3 ビデオ



ビデオ再生時の設定を行います。

アスペクト比

アスペクト比の設定を「自動」か「全画面」に設定します。

繰り返しモード

ビデオ再生の繰り返し設定を「順番」「1ファイル」「ランダム」「切り」から選択します。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存して設定メニューから抜けます。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存しないで設定メニューから抜けます。

マルチメディア機能

6.4 音楽



繰り返しモード
音楽再生時の繰り返しモードを「順番」「1ファイル」「ランダム」「切り」から選択します。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存して設定メニューから抜けます。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存しないで設定メニューから抜けます。

6.5 Office ビューワー



表示モード

表示モードを「幅をあわせる」「高さをあわせる」「全体表示」から選択します。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存して設定メニューから抜けます。

を選択して「Enter」キーを押すと設定を保存しないで設定メニューから抜けます。

マルチメディア機能

7. 内部メモリーへのファイル転送方法

以下の方法でお使いのコンピューターから本機の内部メモリーにファイルを転送できます。

7.1 電源を入れる

本機の電源を入れます。P29を参照してください。

7.2 入力切替

入力を「Media」に切り替え、「Connect to PC」を選んで「Enter」キーを押します。



PCとの接続モードに入ると以下の表示となります。



マルチメディア機能

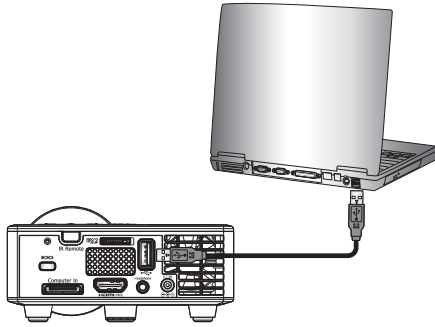
補足

❖ プロジェクターがPC接続モードになる前にPCとのケーブル接続は行わないでください。

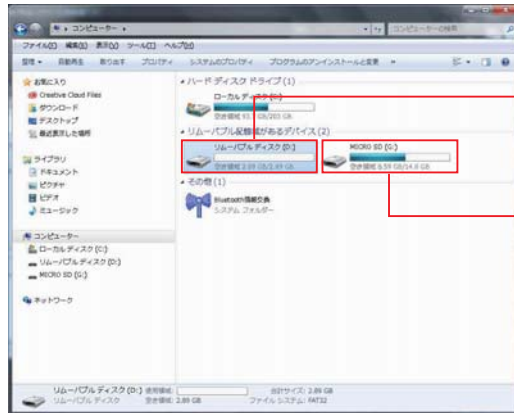
PC、プロジェクター双方のバスパワーの影響により、コンピューターやプロジェクターの故障の原因となります。

7.3 接続

付属のUSB A-Aケーブルを使用してPCと本機を接続します。



「エクスプローラー」に代表されるコンピューターのファイル管理ソフトを起動します。リムーバブルディスクとして本機の内部メモリを見る事ができます。また、microSDカードが挿入されている場合、その内容も確認する事ができます。



7.4 転送

内部メモリに転送したいファイルをドラッグアンドドロップしてファイルを転送します。

microSDカードの内容は参照できますが、microSDカードへの書き込みはできません。

7.5 終了

ファイルの転送が終了していることを確認し、使用しているOSのUSBメモリの取り外し手順に従ってUSB A-Aケーブルをプロジェクターから抜きます。PCとの接続モードから抜けます。

故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。
症状が改善されないときは、販売店もしくはサービス実施店
まで連絡してください。

症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「設置」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ レンズキャップを外してあるか、本機の電源が入っているか確認します。
- ▶ [AV ミュート] 機能が働いていないか確認します。

症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ コンピューターの画面設定を開いて、表示解像度が 1600 × 1200 ドット以下に設定されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ ノートパソコンを使用しているとき：
 1. 最初に、上記の手順に従ってコンピューターの解像度を調整します。
 2. PC の外部モニター表示切替組み合わせキーを押します。
例：[Fn] + [F3]

PANASONIC、NEC → Fn + F3
HP、SHARP、TOSHIBA → Fn + F5
IBM、SONY → Fn + F7
DELL、EPSON → Fn + F8
FUJITSU → Fn + F10
APPLE → F7

- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動してください。

故障かな・・・と思ったときは

症状：ノートパソコンの画面が表示されない。

- ▶ ノートパソコンを使用している場合：
製品によっては、外部出力を接続すると内蔵画面がオフになるものがあります。再度オンにする方法は、製品によって異なります。詳細については、お使いのコンピューターのマニュアルを参照してください。

症状：映像が安定しない、またはちらつく

- ▶ 「サンプリング位相」または「クロック周波数」を適切な値に調整します。
- ▶ コンピューターの表示モードを確認して再設定します。本機と互換性のあるモードを選んでください。

症状：映像のピントが合わない

- ▶ フォーカスリングを調整してください。
- ▶ スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。
(32～44 ページを参照)

症状：DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

リモコンの「Aspect」を押すか、メニューの「映像」→「アスペクト比」を選択して、映像が適切なアスペクト比で表示されるよう調整します。

症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる














- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ リモコンの「Aspect」を押すか、メニューの「映像」→「アスペクト比」で別の設定を試します。
- ▶ 入力を切り替えて、再度選びなおします。

症状：映像の上下左右が正しく表示されない


- ▶ メニューの「表示」→「設置モード」で、映像の表示方法を選択します。

故障かな・・・と思ったときは

症状：インジケータの点灯によるメッセージ

メッセージ	電源 インジケータ	温度 インジケータ	エラー インジケータ
	(オレンジ/青)	(オレンジ)	(オレンジ)
スタンバイ	 (オレンジ)		
ノーマル (電源オン)	 (青)		
温度エラー		点滅 (3秒点灯 1秒消灯)	
ファンエラー		点滅 (2秒点灯 0.5秒消灯)	
LEDエラー			

補足

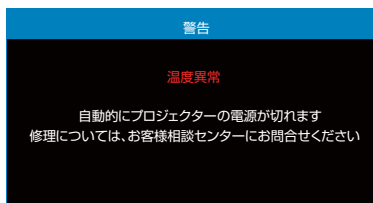
点灯→

消灯→

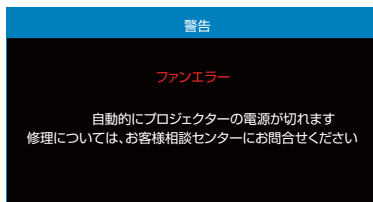
故障かな・・・と思ったときは

症状：メッセージ通知

- ❖ [温度] インジケーターがオレンジ色に点滅（3秒オン、1秒オフ）し、以下のメッセージが表示されたときは、本機の内部が過熱しています。吸排気口をふさぐものがないか確認し、異常が改善されない場合はコールセンターへ連絡してください。



- ❖ [温度] インジケーターが赤色に点滅（2秒オン、0.5秒オフ）し、以下のメッセージが表示されたときは、冷却ファンの異常です。コールセンターへ連絡してください。



- ❖ [エラー] インジケーターがオレンジ色に点灯した時は、光源のLEDの異常です。コールセンターへ連絡してください。

対応信号一覧表

信号一覧			
RGB、HDMI共通			
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	Mac対応
VGA	640 x 480	60/75	60/75
SVGA	800 x 600	60/75/120 ^(*)	60/75
XGA	1024 x 768	60/75/120 ^{(*)、(*)}	60/75
SXGA	1280 x 1024	60/75	60
WXGA	1280 x 768	60/75	-
WXGA	1280 x 800	60	60
WXGA	1366 x 768	60	60
WXGA+	1440 x 900	60/75	-
SXGA+	1400 X1050	60	60
WSXGA+	1680 x 1050	60	60
HDMI, YPbPr(via VGA port)	480i/480p	60	-
	576i/576p	50	-
	720p	50/60	60
	1080i	50/60	-
	1080p	24/50/60	60

仕様

■ 一般仕様一覧

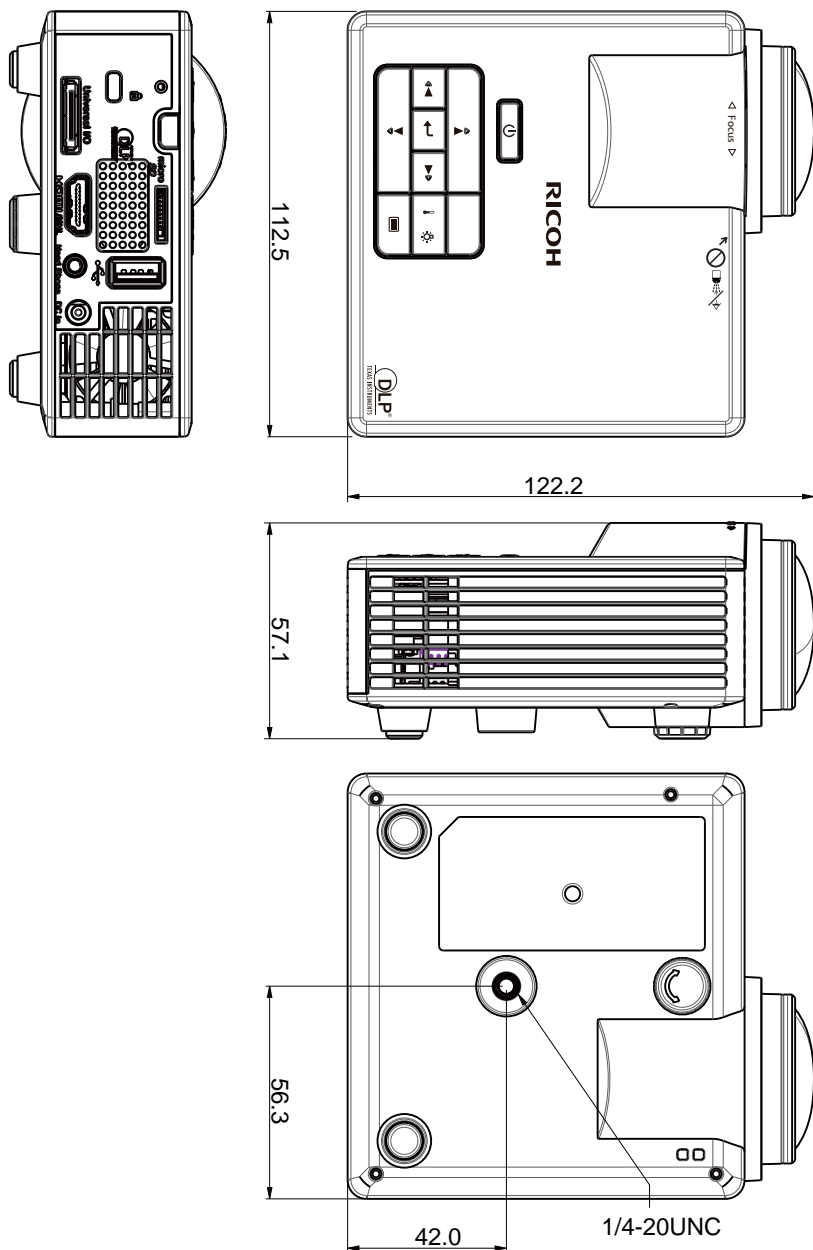
項目		モデル名
		PJ WXC1110
DLP チップ		0.45" WXGA
光源		RGB LED
光源寿命		20,000 時間
投写レンズ		固定焦点/手動フォーカス
投写距離 (フォーカス範囲)		0.86~1.72m
投写サイズ (型)		50~100
スローレシオ (距離/幅)		0.8
寸法 (幅×高さ×奥行)	突起部除く	112.5(W) x 40.5(H) x 105.0(D) mm
	突起部、脚部含む	112.5(W) x 57.1(H) x 112.2(D) mm
質量		約 0.45 kg
入出力端子	コンピューター入力	-24ピン ユニバーサルコネクター(アナログRGB) 専用変換ケーブル付属
	HDMI/MHL入力	MHL 2.0準拠 -HDMI ビデオ(最大1920×1080 60Hz)/オーディオ -MHL デジタル信号(最大 1080P 30Hz) -MHL 5v出力(最大900mA)
	microSDカードスロット	-最大32GB -microSD/microSDHC対応
	USB 端子	タイプAコネクター -USB 1.1 対応 内部メモリーアクセス用 -USB2.0×メモリーに対応 最大64GB (対応フォーマット FAT16/FAT32/NTFS/ExFAT) -USB2.0 500mA/バスパワー対応
	ヘッドホン出力(*) (3.5mmステレオジャック)	-HDMI、Multimedia入力時に使用可能
スピーカー		1.5 W (モノラル)
騒音	標準モード	最大 38dB (A)
	エコモード	最大 22dB (A)
消費電力	エコモード	最大 18W
	標準モード	最大65W
	待機時	0.5W 以下
動作/保管環境		<ul style="list-style-type: none"> 動作温度:5~40℃ 湿度:20~80%(結露なし) 保管温度:-20~60℃ 湿度:20~80%(結露なし)

補足

- ・(*)ヘッドホン出力を接続すると本機のスピーカーから音は出ません。
- ・設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
- ・本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。

外形寸法

単位: mm



商標

- DLPはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。DLP Linkはテキサス・インスツルメンツの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Word、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe PDF, Adobe Reader, Adobe AcrobatはAdobeシステムズ社の登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- MHL, Mobile High-Definition Link、およびMHLロゴはMHL Licensing, LLC社の商標または登録商標です。
- Blu-rayはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>



保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。
したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。
修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」にお問い合わせください。

0120-892-111^{イチイチイチ}

- 受付時間:平日(月～金)9時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/index.html>